

令和元年度 1 学年 国語 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○楽しんで読書をし、言葉を大切にしようとする態度が育っている。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「 」）の使い方を理解して書くことが難しい児童が多い。 △話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えることが難しい児童が多い。 △経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることはまだ練習が必要。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「 」）の定着。</li> <li>・集中して聞く力。</li> <li>・書く経験の積み重ね。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なことや経験したことを報告する、観察したことを記録する、日記や手紙を書く、簡単な物語をつくるなど、多様な活動を通して文章の書き方や正しい表記の仕方を指導する。</li> <li>・尋ねたり応答したりするなど、少人数で話し合う活動を取り入れる。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： _____ てがみで しらせよう _____ 指導時間： _____ 6 _____ 時間      指導時期： _____ 1 _____ 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マインドマップを用いて、経験したことをなるべく多く思い出させる。</li> <li>・主語と述語の関係に注意して、敬体を使って書くようにさせる。</li> <li>・句読点の打ち方やかぎ（「 」）の使い方を自分で見直したり、友達同士確認したりさせる。</li> <li>・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」及び「を」の使い方について自分で見直したり、友達同士で確認したりさせる。</li> </ul>

令和元年度 1 学年 算数 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習意欲があり、挙手や発言が多い。</li> <li>○ 習熟度や計算の速さは個人差がある。</li> <li>○ 文章題を読み取り、たし算なのかひき算なのかわからないときがある。文章の意味理解が不十分である。</li> </ul>	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章題での理解不足。</li> <li>○ 計算速度や習熟度の個人差。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章題を理解できるよう、図や絵を用いて考えさせる。</li> <li>○ 苦手な子については、個別に声をかけ理解を助ける。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： _____ くりあがりのあるたし算 _____</p> <p>指導時間： _____ 1 3 _____ 時間      指導時期： _____ 1 0 _____ 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章問題を理解できるよう、図や絵を用いて考えさせる。</li> <li>○ 視覚的に理解を深めるため、教材・教具を工夫し具体物を用いる。</li> <li>○ 苦手な子については、個別に声をかけ理解を促す。</li> </ul>

令和元年度 1学年 生活科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○校庭での草花遊びや生きもの探しは、意欲的に取り組み、自然の様子や自然の遊びの楽しさに気付くことができている。</p> <p>○身近な人々や学校を自分との関わりで捉えることができている。</p> <p>△社会や自然と自分の生活について考えることができているが、言葉や文章で上手く表現することが難しい。</p>	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・ 1年間のできごとやがんばったことなどを振り返り、自分なりの方法で表現する力。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【授業改善策】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<p>・ 身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したり、日記や手紙を書く、簡単な物語をつくるなど、書く活動を通して描き方を指導する。</p> <p>・ 尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動を取り入れる。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>もうすぐ2年生</u></p> <p>指導時間： <u>14</u> 時間      指導時期： <u>2～3</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>・ 入学当初にかいた自分の名前や行事のスナップ写真等の記録を手掛かりとして、自分の成長を振り返らせる。</p> <p>・ 自分の成長を振り返り、どのようなことができるようになったか、自分の良さや可能性について考えさせる。</p> <p>・ 話し合い活動を通して、思考を深めさせるとともに気づきの質を高める。また、様々な言語表現を知るようにさせる。</p>

令和元年度 1 学年 音楽 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○進んで音楽にかかわる児童が多い。 ○歌唱では、あそびうたやリズム打ちをしながら楽しく歌った。 △器楽では、カスタネットのリズム打ちや鍵盤ハーモニカで簡単な曲を演奏したが、音を出すルールが定着していない。 △創作では、なまえあそびや、ことばでリズムなどを行ったが、拍にのって表現できない児童がいた。 ○鑑賞では、音楽に合わせて体を動かしたり、リコーダーアンサンブルコンサートの生の演奏を鑑賞したりして、音楽の楽しさを感じ取った。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音遊びを通して、音楽づくりの発想を得ること。</li> <li>・どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつこと。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の流れを明確化</li> <li>・イメージをもたせやすくするための視覚的な教材の提示</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：<u>いろいろなおとをたのしもう</u> 指導時間：<u> 9 </u>時間 指導時期：<u> 1 2 </u>月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージをもちやすくするために写真やイラストを用意する。</li> <li>・音の出し方によって、音色が変わることをとらえるため、一人ずつ音まわしをする。</li> <li>・グループで音楽の構造を記録できるワークシートを用意する。</li> <li>・友達のおよさを発表したり、自分たちの演奏に生かしたりできるようする。</li> </ul>

令和元年度 1学年 図画工作 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○自分の思いのままに体全体の感覚をはたらかせて、造形活動を楽しむことができる。</p> <p>○はさみ、絵具など道具をつかって造形活動をすることに意欲的である。</p> <p>△技能的に制作が難しい児童がいたり、表現することに抵抗感があったりと個人差があり、また配慮を要する児童も数名いる</p> <p>△造形活動の発想力が乏しく、自信をもって自分を表現できない児童がいる。</p>	
<p>↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・「かんたんなしくみをつかったごくおもちゃをくふうする」ことを通して、形や色、方法や材料を工夫する力。</p> <p>・造形的なものの見方や考え方、造形感覚。</p>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<p>・児童が、納得するまで作り直したり、試行錯誤したりしながら表現ができる過程を重視していく。</p> <p>・児童の意欲や関心を重視し、身の回りの材料などを見たり触ったりした時の面白さや発見、喜びを大切に、それを広げたり確かめたりできるような学習環境を整えていく。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： _____「びっくりピョーン」_____</p> <p>指導時間： _____ 2 _____ 時間      指導時期： _____ 1 1 _____ 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>・息を吹き込むと帯紙や小さな容器がふわっと浮かんだりぴよんぴよんと跳ねたりする。この動きの面白さから、試行錯誤して作りたいものを造り上げる。</p> <p>・友達と動かしながらか見せ合う活動を通して、自分の作品の良さを感じたり、友達の作品の良さを確かめたりする活動を取り入れる。</p>

令和元年度 1 学年 体育 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体づくり運動等を通して、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすることができた。</li> <li>○表現リズム運動では、リズムに合わせて腕や足を動かしたり、布を使ったダンスで楽しく活動することができた。</li> <li>○ゲームの運動の際に、簡単な規則やルールを設けたが、それを理解できなかったり、勝敗を受け入れることができなかつたりということがあった。</li> <li>○活動が発展した時も、規則を工夫したり、改善したりといった考えをもって活動することがなかった。</li> </ul>	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動の中で、児童自身がそれについて考え、工夫をしようとする機会の設定。</li> <li>○きまりを守り、仲良く運動するといった意欲的な態度の育成。</li> </ul>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【授 業 改 善 策 】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各活動をする際に、目標をもたせて、その解決や達成に向かって意欲的に活動ができるようにする。また、次回の活動へと繋げていけるように、全体での振り返りを行う。</li> <li>○活動を工夫しようと考えを深めたり、きまりを守ろうとする態度を養ったりするために、話し合いの時間と場を設ける。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： _____ ボールゲーム _____</p> <p>指導時間： _____ 1 2 _____ 時間      指導時期： _____ 1 1 _____ 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の目標を確認し、クラス全体でめあてをきめてから活動を行うようにする。活動が終わったら、振り返りを行い、できたことやできなかったことを考えて次回に生かせるようにする。</li> <li>○友達とどのように活動を工夫していけばよいのか、考えを初票する時間を確保する。そこで出た意見や考えを次回の活動で実践できるように、声掛けをする。規則やルールについても友達との話し合いの中でどのようにしていけばよいかをクラス内で発表できるようにする。</li> </ul>

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○隙間時間を見つけて、楽しんで読書をする意欲が育っている。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」の理解が定着していない児童が複数いる。 △考えたことや感じたことを、具体的に書くことが難しい児童が多い。</p>	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」の使い方の定着。</li> <li>・考えたことや感じたことを、具体的に書く能力。</li> </ul>	
<p>【授業改善策】</p>	<p>授業改善の手 だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語を核とし、報告・記録・手紙や物語を作るなど、書く活動を通して書き方を指導する。</li> <li>・思いなどを表す語彙数を増やしたり、理由を付けて詳しく書いたりする経験を積み重ねる。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>おてがみ</u> 指導時間： <u>11</u> 時間      指導時期： <u>10</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物のがまくんやかえるくんの思いを想像し、言語化・文章化する活動を毎時間設ける。</li> <li>・音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」の使い方に注意して、必要な文章を抜き出したり、感想を書いたりする。</li> </ul>

令和元年度 2学年 算数科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○たし算とひき算の筆算の学習では、正確に解けるようになってきたが、個人差が目立つ。 ○具体物を用いると、理解度が上がる。 △文章題で、問題をしっかり読まずに立式してしまうことや、問題場面をイメージすることができないことが多い。 △授業内で、自分の考えを発表する場を作っているが、進んで発言する児童が固定化されてきている。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加法の結合法則の正しい理解。</li> <li>・ 簡単な加減の暗算の仕方の理解。</li> </ul>	
<p>【授業改善策】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章題を理解できるよう、図や絵を用いて考えられるようにする。</li> <li>・ 考えを共有できる場を作り、自分の考えを発表できるようにする。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>        計算のくふう        </u> 指導時間： <u>    4    </u> 時間      指導時期： <u>    9    </u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図や絵を用いて考えさせ、文章題の内容理解につなげる。</li> <li>・ 具体物や半具体物など、視覚的な支援を行う。</li> <li>・ 考えを伝え合う場を作り、友達同士や全体で共有できるようにする。</li> </ul>



令和元年度 2学年 生活科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○身の回りの出来事や環境、自然に関心を持ち、積極的に働きかけようという態度がある。 ○生き物への関心が高く、愛情をもってトカゲやカブトムシの世話をしようとしている児童がいる。 △ミニトマトの水やりでは、自主的に行わないことがある。 △自然や環境に触れる中で、感じたこと、観察したこと、気が付いたことなどを文章や絵に表す学習では、視点を明確にすることが必要である。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きものの生息環境や形態・成長の様子に関心をもつ。</li> <li>・生きものと自分の関わりについて考えたことを表現する。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の生きものや自然に興味をもつため、身近な自然の場所に出かける。</li> <li>・事象と図鑑などを見比べて、絵や文で表現したり、友達と話し合ったりする。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>めざせ 生きものはかせ</u> 指導時間： <u>11</u> 時間      指導時期： <u>9</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童自ら生きもの探しを行う。</li> <li>・児童の小さな気付きを肯定的に評価し、意欲的に自然や生きものに関われるようにする。</li> <li>・図鑑などを活用して、興味のある生きものについて調べる。</li> <li>・学んだことや調べたことを発表する。</li> </ul>

令和元年度 2学年 音楽科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○音楽を楽しみ、意欲的に歌ったり、合奏したりしようとしている。 ○音楽を全身で表現しようとしている。 △音を出す時と、出さないときのルールが定着していない。 △自分中心で、周りと合わせることができない児童がいる。</p>	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・ 楽しく音楽と関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じて表現する</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【授 業 改 善 策 】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<p>・ 簡単で面白い課題の設定 ・ 身体表現、リトミック、音楽づくりなど、多様なアプローチ</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：<u>拍子を感じてリズムをうとう</u> 指導時間：<u> 9 </u>時間 指導時期：<u> 9 </u>月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2拍子・3拍子のリズムの特徴を理解する。</li> <li>・ 拍子にあった歌い方を工夫する。</li> <li>・ 歌に合わせてリズムをたたく。</li> <li>・ 2拍子の曲に合わせて行進しよう。</li> <li>・ 3拍子の曲に合わせてゴムとびで、バンブーダンスをしてみよう。</li> <li>・ 鑑賞曲を聴いて、拍子をあててみよう</li> <li>・ 拍子に合わせて動いてみよう。</li> </ul>

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○想像力をはたらかせたり、自分の中に思いや物語をもったりしながら造形活動を楽しむことができる。</p> <p>△造形活動の発想力が乏しく、作品が似たものばかりに多くなってしまいう児童がいる。</p>	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形活動における発想力や構想力の育成</li> </ul>	
<p>【授業改善策】</p>	<p>授業改善の手 だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の興味や関心を重視し、そこから物語や想像を広げるように促す。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>かぶって へんしん</u></p> <p>指導時間： <u>4</u> 時間      指導時期： <u>10</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だ て</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なお面の例を用意し、自分の作品づくりの参考にできるようにする。</li> <li>・友達がどんなお面を作り、そのお面に対してどんな物語や想像を持っているかを交流して、自分の考えの幅を広げる。</li> </ul>

令和元年度 2学年 体育科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○集団行動ができるようになってきた。 ○表現遊びを通して、さまざまな動きをしたり、仲間と活動したりすることを楽しんだ。 ○友達同士で協力し合って活動したり、お互いの良さを認め合い、目標に向かって意欲的に活動したりすることができる。 △教師の指示を無視して、おしゃべりしたり、勝手に行動したりする児童が複数見られる。 △ゲームに集中して取り組む一方、勝敗にこだわりすぎてしまうことがある。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長縄跳びで友達と息と声を合わせ、リズムカルに跳ぶ。</li> <li>・友達の良さを見合い、助言し合って目標を達成する。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動を通して、楽しんで体を動かすこと、協力し合うことの良さを経験させる。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： _____ 体づくり運動 _____ 指導時間： _____ 7 _____ 時間      指導時期： _____ 1 1 _____ 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や周りの仲間が楽しんで活動するためには、どのようなことに気を付けるべきなのかを考えさせる。</li> <li>・クラス目標をスモールステップで設定し、達成感を味わう機会をつくる。</li> <li>・友達同士で跳び方を見せ合いながら、協力して全力を尽くす経験を積み、自己肯定感を育む。</li> </ul>

令和元年度 3 学年 国語 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○読書活動に意欲的に取り組める児童が多く見られる。 ○語のまとまりを意識して音読することができる。 △伝えたい事柄を相手に伝わるように話す力、話の内容を落とさないように聞く力に個人差が見られる。 △文章を正確に読み取る力に欠ける。 △文字（漢字、ひらがな、カタカナなど）を正しく丁寧に書くことがむずかしい児童が多い。 △既習漢字の習得に個人差が見られる。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字、言語知識の習得</li> <li>・ 話の中心を捉えた話の聞き方や、相手に分かりやすく伝える力</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的に漢字テストを行い、漢字の習得を図る。</li> <li>・ 身近に国語辞典を常備し、分からない言葉調べる。</li> <li>・ 授業で意図的に話す・聞く場面を設定する。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>つたえよう、楽しい学校生活</u> 指導時間： <u>15</u> 時間      指導時期： <u>9</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活の中から話題を決め、事柄を調べたりインタビューしたりする。</li> <li>・ 一人一人が説明したい事柄を考えて、互いに伝え合う活動を取り入れる。</li> <li>・ 発表メモの書き方を理解し、聞き手に分かりやすく伝える文を考えさせる。</li> <li>・ 互いの共通点や相違点を考えたり、司会や提案などの役割を果たしたりしながら、話し合いを進めるようにさせる。</li> </ul>

令和元年度 3 学年 社会 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○意欲的に学習に取り組んでいる姿が見受けられる。 ○「あるけあるけ わたしたちのまち」の単元では、身の回りの地域のことについて調べ、社会科の学習に関心をもって取り組んでいる。 △身の回りの地域について知らないことが多く、地域との関わりが不十分である。 △「観察・資料活用の技能」では、資料を読み取りに課題がある児童も多い。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や、身の回りの生活に積極的に関わる態度。</li> <li>・地図や表、グラフ等の資料を正しく読み取る力。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の施設や店などを見学し、自分たちの生活とのつながりや関わり方を考えたり話し合ったりさせる。</li> <li>・地図やグラフをグループで作成したり、整理したりする活動を通して、資料の扱いに慣れさせる。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： _____ 店で働く人と仕事 _____ 指導時間： _____ 1 0 _____ 時間      指導時期： _____ 9 _____ 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物調べで得た情報について、グループで話し合いながら整理したり、地図や表、グラフ等の資料を作成したりさせる。</li> <li>・スーパーマーケットやコンビニエンスストアに見学に行き、どのようにして商品が並べられているのかについて調べさせる。</li> <li>・買い物の仕方について考えをもたせる。</li> </ul>

令和元年度 3 学年 算数 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○「技能」「知識・理解」に関しては、やや達成できている。 ○数学的活動に対して意欲的に取り組む児童が多く、タブレット端末を活用した「ヤルキー」では、学習に前向きに臨む姿が見られる。 △「数学的な考え方」について、問題を捉えて自ら解決する力に課題がある。 △文章題では、題意をとらえて正しく立式できず、式の意味理解が十分になされていない児童が見られる。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉や図、数、式等を用いて、筋道を立てて説明したり、論理的に考えたりする力。</li> <li>・数量の関係を式に表したり、式を読んだりする力。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事柄や関係を的確に捉えるために、実際に図をかいたり、具体物や半具体物を用いて調べてみたりして、式に表す活動を取り入れる。</li> <li>・数学的活動を取り入れ、ワークシートやノートに考えを書く指導にあたる。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：<u>はしたの大きさの表し方を考えよう ～分数を使って</u> 指導時間：<u>11</u>時間 指導時期：<u>12</u>月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「半分にする」という操作や「10等分にしたいいくつ分」では表せない場面を取り上げ、単位量を任意に等分するという考えを引き出す。</li> <li>・分数と小数の関係を把握させるために、1つの数直線上に単位量を10等分した分数と小数を表し、その対応を把握させる。</li> </ul>

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○楽しみながら授業に参加している。 △観察したことや実験したことを、自分の考えをいれて表現することが苦手な児童が多い。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に対する自分の考えを表現する。</li> <li>・観察・実験して気付いたことや考えたことを自分なりに表現する。</li> </ul>	
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをまとめ記述する時間を毎時間設定する。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：<u> 太陽の動きと地面のようすをしらべよう </u> 指導時間：<u> 10 </u>時間      指導時期：<u> 10～11 </u>月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽と地面のようすとの関係 について見方や考え方をもち、自分なりの表現ができるようにさせる。</li> <li>・太陽の位置と影について予想し、自分の考えを友達と伝え合う活動を行う。</li> </ul>



令和元年度 3学年 音楽科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>△進んで音楽にかかわる児童が多いが、集中が続かない児童がいる。 ○歌唱では、あそびうたやリズム打ちをしながら楽しく歌った。 △器楽では、主にリコーダーを通して、基本的な奏法を確認し、簡単な楽曲を演奏したが、個人指導が必要な児童が多い。 ○鑑賞では、「トルコ行進曲」で2拍子を感じながら聴く活動や、リコーダーのアウトリーチコンサートなどを鑑賞し、生の音楽を楽しく聴くことができた。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能</li> <li>・設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能。</li> </ul>	
<p>【授業改善策】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーでは、一人一人聴く機会を設け、できたらシールを貼るなどして意欲をもたせる。</li> <li>・授業の流れの明確化、グループで協力してつくる喜びを感じさせる。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>いろいろな音のひびきを感じとろう</u> 指導時間： <u>9</u> 時間      指導時期： <u>11</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まほうの音楽を入れて歌おう」では、魔女の挿絵などを拡大して、様子を思い浮かべやすくする。</li> <li>・ナレーションやセリフ担当も入れることで、それぞれの役割意欲をもたせる。</li> <li>・つくった音楽を記録できるワークシートを用意する。</li> <li>・友達の演奏のよさを聴き取り、自分たちの演奏に生かすようにする。</li> </ul>

令和元年度 3 学年 図工 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○自分の思いのままに体全体の感覚を働かせて、造形活動を楽しむことができる。 ○道具や用具をスムーズに使えるようになってきた。 △技能面や創造的につくったり表したりすることに対する個人差があり、また配慮を要する児童も数名いる。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表し方を工夫して、創造的につくったり表したりすること。</li> <li>・ 豊かに発想したり、構想したりすること。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童が思いついた方法をすぐに試せるよう材料や用具を用意し、活動時間を十分に確保する。</li> <li>・ 用具を使うことから表現が広がる様な指導を工夫していく。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>小さな箱のものがたり</u> 指導時間： <u>6</u> 時間      指導時期： <u>11</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な材料を用意し、児童がわくわくするような、題材との出会いを工夫する。</li> <li>・ 紙粘土で登場人物をつくることで、発想を広げ、よりお話の世界の中に感情移入できるようにしていく。</li> <li>・ 自分で見つけたよさや面白さを、児童自身が自ら気づく場作りをし、それを表現や鑑賞に生かすように働きかけていく。</li> </ul>

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○学習に意欲的に取り組む児童が多い。 △めあてや目標をチームや個人で決めることに慣れておらず、活動に目標を持って取り組むことができていない。 △互いに高め合っていけるような、声掛けが少ない。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてや目標を持って活動に取り組み、振り返りを通してより良い活動にしようと努力する力。</li> <li>・声をかけあい、互いを認め合って運動していく力。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてや目標を決め、それに対しての振り返りを授業内で行う。</li> <li>・良い声掛けについて考えさせ、良いものは積極的に賞賛していく。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： _____ 「ボール運動」 タグラグビー _____ 指導時間： _____ 7 _____ 時間      指導時期： _____ 10 _____ 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードに個人のめあてとチームのめあてを記入させ、毎時間の終わりに自己評価をさせる。</li> <li>・チームで話し合う時間をつくり、攻守の作戦を考えさせる。</li> <li>・授業の途中や最後に、良い声掛けについての振り返りを行い、意識を高めさせる。</li> </ul>

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○物語文の学習に興味をもって取り組む児童が多い。 ○読書活動に、意欲的に取り組む児童が多く、いろいろなジャンルの本を読むなど、学習に前向きな姿が見られる。 △単元テストを見ると、「言語」について期待平均点に到達していない児童が多く、言葉の意味理解が十分になされていない。 △読み取り問題では、題意を正しくとらえて解答できない児童が見られる。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉を適切に用いながら、筋道を立てて説明する。</li> <li>・内容を正しく理解しながら文章を読んだり、感じたことを言葉に表したりする。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の関係性や物語を的確に捉えるために、関係図を書かせる。</li> <li>・事実と考えを区別して話したり書いたりさせる。</li> <li>・話し合い活動の仕方、ノートやメモの取り方について丁寧に指導する。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：<u>だれもが関わり合えるように</u> 指導時間：<u>15</u> 時間      指導時期：<u>9</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大事な言葉を短い言葉や文で書くようにさせる。</li> <li>・自分が一番伝えたいことを考えさせる。</li> <li>・メモを元に文を構成したり、言葉を並べ替えたりする活動をさせる。</li> <li>・調べたことと自分の考えを区別し、相手に分かりやすく伝わるようにさせる。</li> </ul>

令和元年度 4 学年 社会 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○「ごみのゆくえ」の単元では、学校や家庭から出るごみの種類と分別の仕方、収集の方法を調べるなど、社会科の学習に関心をもって、意欲的に取り組む児童が多い。 △「観察・資料の活用の技能」では、地図やグラフなどの資料を読み取って答える問題に、つまずきが多い。 △自分たちが日常生活で体験したことが、知識や理解と結びついていない。</p>	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の学習で活用される地図やグラフなどの資料を正しく読み取る。</li> <li>・自分たちの生活と社会科の学習を関連付けて学習する。</li> </ul>	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">【授 業 改 善 策 】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な資料の読み取りでは、何に着目すればよいかの視点を与えた上で見つけたものに印をつけたり、そこから分かる情報をノート等に記録したりする学習を積み重ねる。</li> <li>・社会科での学習内容を自分の生活と結びつけて考える活動を、授業の中で適宜設定する。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>わたしたちの東京都と日本</u> 指導時間： <u> 7 </u> 時間      指導時期： <u> 1 2 </u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本全体の地図を使って地形や都道府県の様子について知るとともに、47都道府県の位置と名称についての理解を図る。</li> <li>・東京都全体の様子について、地図帳を使って概観し、大まかな地形や交通、土地利用の特色をとらえる活動をする。</li> </ul>

令和元年度 4 学年 算数 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○単元ごとのテストを見ると、「技能」に関しては、平均突立つ目標を達成できている児童が多い。 ○数学的活動に、意欲的に取り組む児童が多く、ノートをしっかり取るなど、学習に前向きに臨む姿が見られる。 △単元テストを見ると、「数学的な考え方」について、の理解が浅く、問題を捉えて自ら解決する力に課題がある。 △文章題では、題意をとらえて正しく立式できない児童が見られ、式の意味理解が十分になされていない。 △個人差がかなり大きい</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉や図、数、式等を用いて、筋道を立てて説明したり、論理的に考えたりすること。</li> <li>・数量の関係を式に表したり、式を読んだりすること。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事柄や関係を的確に捉えるために、実際に図をかいたり、具体物や半具体物を用いて調べてみたりして、式に表す活動を取り入れる。</li> <li>・数学的活動を多く取り入れ、学習シートやノートに考えを書く指導にあたる。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>小数のしくみを調べよう</u> 指導時間： <u>13</u> 時間      指導時期： <u>11～12</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線を用いて小数の大きさを考える活動では、各目盛が何を単位としてあらわされているかを考える習慣をつけたり、自分で目盛を設定して数直線をかいて小数を表したりする活動をする。</li> <li>・小数の加減計算について、数の範囲を 1000 分の 1 の位まで拡張すると同時に、小数の加減の筆算形式の理解と計算技能の定着を図る。</li> </ul>

令和元年度 4 学年 理 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○单元ごとのテスト結果から、「知識・理解」については8割以上達成できている。 ○観察・実験などの体験的な学習を楽しみながら学習することができる。 △実験の際に、自分の考えをまとめることに対して苦手を感じている児童が見られる。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・学習課題に対して、理由をそえて自分の考えを記述する。</p>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<p>・自分の考えを記述する方法を繰り返し指導する。 ・記述が難しい児童の思考力、表現力育成の支援をする。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>          ものの温度と体積          </u> 指導時間： <u>      7      </u>時間      指導時期： <u>      1 1      </u>月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>・温度が変わると空気や水の体積がどのように変わるかを予想し、自分の言葉で表現させる。 ・金属、水、空気の温まり方の特徴を調べ、その過程や結果を自分の言葉で表現させる。</p>

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○進んで音楽にかかわる児童が多い。 △話を最後まで聞く、静かに音楽を聴くことに課題がある。 ○歌唱では、よく声を出しているが、頭声できていない児童が数名いる。 △器楽では、主にリコーダーを通して「歌のにじ」など演奏したが、低いファの運指が定着していない。 △音楽づくりでは、くり返しや変化を使って、「言葉でリズムアンサンブル」をつくったが、協力してできる班と、そうでない班があった。 △鑑賞では、「パパゲーナとパパゲーノの二重奏」やリコーダーのアウトリーチコンサートなどを鑑賞したが、曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付くまでに至っていない。</p>	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴をとらえた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。</li> <li>・ 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の長よさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。</li> </ul>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【授業改善策】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートや付箋などを使って、どんなふうに演奏したいかを書かせて思いや意図をもたせる。</li> <li>・ 鑑賞においても、身体表現などを取り入れて、ただ聴くだけでなく児童が主体的に聴けるようにする。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：<u>旋律の重なりを感じとろう</u> 指導時間：<u> 7 </u>時間      指導時期：<u>11</u>月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旋律の重なりをわかりやすくするために、図形楽譜を掲示する。</li> <li>・ 鑑賞においては、旋律の重なりを体で感じられる活動を多く取り入れたたり、カードを用いたりして、曲を何度も聴けるようにする。</li> <li>・ 曲にあった身体表現をグループで考える活動を取り入れ、児童が主体的に取り組めるようにする。</li> </ul>



<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○自分なりの思いを膨らませながら、進んで造形的な創造活動に取り組むことができる。</p> <p>○絵に表す題材では、いろいろな表現方法を工夫し、楽しみながら意欲的に取り組むことができる。</p> <p>△学習活動のいろいろな場面で行う鑑賞の活動では、自分や友達の作品を見て話し合う際に、形式的なものになりがちである。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしていく。</li> </ul>	
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学年の児童の表し方が多様になる特徴を生かして、題材や作品テーマの柔軟な取り扱いを工夫する。例えば、絵で表す→立体→工作など</li> <li>・材料や用具を扱う楽しさを味わわせるとともに、その経験が深まるような指導を工夫していく。</li> <li>・この学年においても、自分と対象が一体化するような気持ちで作品を見る傾向がまだ残っているので、中学年らしい快活さと合わせて鑑賞活動の工夫をさらに図っていく。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>題材名： 「まぼろしの化石発見」</p> <p>指導時間： 10 時間      指導時期： 10 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まぼろし」という言葉から現実的ではない想像の世界を思い描けるようにする。</li> <li>・化石を映像で見せ、化石が発見された場所や状況、時代等に興味をもたせる。</li> <li>・題材構成として、始めに「絵で表し」次に紙粘土による「立体」で表現する活動を取り入れることで、表現することの楽しさを味わわせる。</li> </ul>

令和元年度 4 学年 体育 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○運動に苦手意識をもっている児童も一部いるが、全体的には、運動に意欲的に取り組む児童が多い。 △毎回の授業で、学習のめあてを考えられている児童は少ない。 △自己やチームの作戦に対する意識は全体的に低く、一人一人の動きが具体的な作戦を立ててゲームを行っているチームは少ない。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで行う運動の際に、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだり、立てたりすること</li> <li>・自己の課題に応じた適切なめあてをもって運動に取り組むこと</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作戦への意識が高まるように学習カードや学習補助教具を工夫する</li> <li>・作戦を考える時間を確保する。</li> <li>・児童が自己の課題に応じためあてをもって運動に取り組めるように、めあての確認や学習後の振り返りを十分に行う。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： _____ 体づくり運動 _____ 指導時間： _____ 8 _____ 時間      指導時期： _____ 9 _____ 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自でどこから進めていくかをよく考え、具体的な目標を立てることができるようにする。</li> <li>・学習カードには目標につながる動きや練習のポイントを載せ、各自でよりよい作戦を立てる際の一助となるようにする。</li> <li>・学習カードにめあてに関連する振り返りを書かせ、次時へのめあてを考えさせることで、個に応じためあてになっているか確認し、適切なめあてをもつことができている児童には具体的に助言をする。</li> </ul>

令和元年度 5 学年 国語 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○音読に意欲的に取り組む児童が多い。 △作文や意見文などを書くことに苦手意識をもっている児童が多い。 △全体の構成を考えて文章を書くことが難しい。 △説明文の意味を理解することが難しい児童が多い。 △物語文や説明文において登場人物の心情や筆者の考えを読み取る力が低い。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理するとともに、引用したり図表やグラフを用いたりするなど書き方を工夫して、自分の考えが伝わるように書くこと。</p>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<p>・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えさせるために、教科書にラインを引いたり、気付いたことをノートに書いたりさせる。 ・文章を書く際に、構成例を提示し、それを基に構成メモを作成してから書くようにする。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>        </u> グラフや表を用いて書こう <u>        </u> 指導時間： <u>        </u> 6 <u>        </u> 時間      指導時期： <u>        </u> 1 1 <u>        </u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>・構成メモ表を作成し、何をどの順番で書くかを自分で明確にする。 ・構成メモを全員ができた段階で、グループごとに話し合い、それぞれの構成メモについての意見を言い合い、修正させていく。 ・グラフや表を説明するときの言い回しを教室に提示し、常に意識して文章を書けるようにする。 ・構成メモを基に意見文を書き上げ、それを教師が添削しコメントを入れ、自信をもたせるようにする。</p>

令和元年度 5 学年 社会 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○調べ学習に、意欲的に取り組む児童が多く見られる。 △一学期のワークテストにおいて、思考・判断・表現が他の項目と比べると比較的 低い数値となっていて、見通しをもって学習を進めたり、物事を考察したりする 力に課題がある。 △一学期のワークテストにおいて、資料活用の正答率が低く、資料から問題を読み 取ったり考えたりすることが苦手である児童が多い。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業生産と人々の生活を関連付けながら、工業生産が国民生活に果たす役割や今 後目指していく工業生産のあり方について考え、表現すること。</li> <li>・必要な情報を具体的な資料から読み取ること。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題について一人一人が考え、自分の言葉で記述したりできるようにする。 また自分の日常から考えていけるような資料を提示する。</li> <li>・学習した知識を基に、社会的事象について自分で考えたことをノートにまとめる 時間を設ける。</li> <li>・1時間の中で資料の読み取りの時間を多く設け、その後、全体でも資料の味方の 確認を十分に行う。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： _____ 工業生産を支える人々 _____ 指導時間： <u> 14 </u> 時間      指導時期： <u> 10 </u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京にある工場の写真を提示し、自分の身近なところから考えていけるようにす る。</li> <li>・毎時間、学習問題に対する自分の考えを書いていき、単元の最後には工業生産の 今後についても考えられるようにする。</li> <li>・写真資料やグラフ等の資料から読み取る時間を多くとり、全員で確認していく。</li> </ul>

令和元年度 5 学年 算数 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○数学的活動に、意欲的に取り組む児童が多く、ノートをしっかり取るなど、学習に前向きに臨む姿が見られる。 △文章題では、題意をとらえて正しく立式できない児童が見られ、式の意味理解が十分になされていない。 △個人差がかなり大きい。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉や図、数、式等を用いて、筋道を立てて説明したり、論理的に考えたりすること。</li> <li>・数量の関係を式に表したり、式を読んだりすること。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事柄や関係を的確に捉えるために、実際に線分図をかいたり、具体物や半具体物を用いて調べてみたりして、式に表したり、式を読んだりする活動を取り入れる。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： _____ 分数のたし算とひき算 _____ 指導時間： _____ 12 _____ 時間      指導時期： _____ 10 _____ 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1Lますの図や数直線などを使って、具体的に、分数の数と量を理解させる。</li> <li>・分母と分子がそれぞれわられる数、わる数のどの値なのかを視覚的に比較させる。</li> <li>・できるだけ分かりやすく整理された解き方のモデルを繰り返し示して理解の定着をさせる。</li> </ul>

令和元年度 5 学年 理科 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○実験や観察を好む児童が多く、生活の中で体験したことや既習の学習と関連付けながら、予想を立てることができる児童も多く見られる。 ○一学期のワークテストでは、知識・理解の正答率が高く 90%となっており、既習したことの復習をしっかりと行ったことで、知識・理解の定着がおおむね見られる。 △一学期のワークテストでは、思考・判断・表現の正答率が70パーセント前後となっており、知識理解に比べると比較的低い数値となっている。 △植物の成長に関わる内容で、知識の・理解の定着が図られていない。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に見通しをもって観察、実験などを行い、問題を解決する。</li> <li>・実験結果から自分の言葉で考察し、説明できる。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決に向けた実験計画を立てる際の時間を十分に確保する。</li> <li>・制御すべき要因と制御しない要因に区別されている適切な実験計画になっているかを児童同士で検証す場を設定する。</li> <li>・学習した知識と実験結果を関連付けて考えさせ、自分の言葉で説明する機会を充実させる。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>植物の実や種子のでき方</u> 指導時間： <u>8</u> 時間      指導時期： <u>9</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受粉の役割を調べる計画を立てる際に、既習事項のメダカの受精と関連付けて考え、制御すべき要因と制御しない要因を区別して具体的な実験計画を立てられるようにする。</li> <li>・実験計画も各グループ内、全体で発表し、全員で検討できるようにする。</li> <li>・調べた結果から分かったことを自分の言葉でまとめる時間を十分にとり、グループ内で全員が必ず発表できるようにする。自分の言葉で説明できない児童には、個別支援を行い、書けるようにする。</li> </ul>

令和元年度 5 学年 音楽 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○進んで音楽にかかわる児童が多い。 △歌唱では、積極的に声を出してきているが、まだ頭声できていない児童が数名いる。 △器楽では、リコーダー合奏や簡単な合奏を行ったが、互いの音が重なり合う響きを楽しむまでには至っていない。 △音楽づくりは、一学期は取り組めていない。 ○鑑賞では、リコーダーアンサンブル、声楽のアウトリーチコンサートなど生の演奏を楽しんで鑑賞できた。 △鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲の演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くことが不十分である。</p>	
<p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能。</li> <li>・いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴、音の重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解すること。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味をわく教材の選択</li> <li>・授業の流れの明確化</li> <li>・グループ学習により、協働して音楽を作り上げる体験の積み重ね</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>リズムを選んでアンサンブル</u> 指導時間： 3 時間      指導時期： <u>9</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する鑑賞曲を用意し、楽器による音色の違い、重なる時のおもしろさに気づき、自分たちの学習とか関わらせて鑑賞させる。</li> <li>・いろいろな重ね方を試しながら、自分たちのリズムアンサンブルについてどのようにつくりたいか話し合う時間を設ける。</li> <li>・友達の工夫した良い点を取り入れ、自分たちの作品にまとめるようにする。</li> </ul>

令和元年度 5 学年 図画工作 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○図工に興味を持ち、楽しく取り組む児童が多い。 ○発想が豊かで自分なりのアイデアを大切に表現しようとしている。 △落ち着いて安全に学習に取り組むことが難しい。 △友達と見合ったり、アドバイスを伝え合ったりすることが難しい。 △材料や道具の特徴を生かし、用途に応じて扱うことができる力。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料に親しませ、落ち着いて道具を安全に使用する力</li> <li>・友達の作品を鑑賞し、良かったことや、感じたことを互いに伝え合う力</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料に親しませ、道具の正しく安全な使い方を指導する。</li> <li>・友達の作品をじっくりとみる鑑賞の時間を確保し、互いに伝え合う場を設ける。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>好きな料理のジグソーパズル</u> 指導時間： <u>12</u> 時間 指導時期： <u>9・10</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下書きの絵ができたなら、互いに作品を見合い、良かったところとアドバイスを伝える場を設ける。</li> <li>・道具の正しく安全な扱い方の指導を徹底する。机間巡視をして、正しく使っている児童を褒める。</li> <li>・特に、道具の特性を生かした作品作りをしている児童をみんなの前で紹介し、道具の特徴を生かした作品作りを意識付けていく。</li> </ul>



<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○課題に対して、興味関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。 △生活体験や経験が少なく、学習内容が日常生活と結びつきにくい。 △道具や用具の扱い方の習得に時間を要する。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実生活と学習を結びつけ、実践力を高めること。</li> <li>・基礎的基本的な知識・技能を習得すること。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の生活から課題を見つけさせるとともに、家庭科学習の進め方や学習のゴールを提示する。</li> <li>・基礎的基本的な技能・知識を確実に身に付けさせるために、視聴覚機器や地域人材を活用し、より具体的に指導する。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>          食べて元気に          </u> 指導時間： <u>  11  </u> 時間      指導時期： <u>  10  </u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食や夕食、学校給食などで、自分たちが食べている食品について五大栄養素で分類することで栄養バランスについて考えさせる。</li> <li>・五大栄養素や食品群について、市の栄養教諭から食育の授業を受け、理解を深めるようにする。</li> <li>・伝統的な食事の基本となる米、味噌について、家庭でどんな食べ方をしているか調べてきたことをもとに課題をもたせる。</li> <li>・ご飯の炊き方やみそ汁の作り方、だしの取り方について、映像や書画カメラ等を用いて理解させる。</li> </ul>

令和元年度 5 学年 体育 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○運動が得意な児童が苦手な児童に教え合う場面が多く見られ、学び合いの姿勢が見られた。 △運動に苦手意識をもっている児童が3割ほどおり、消極的な学習態度で臨む児童が多いように感じる。 △勝敗にこだわりすぎてしまう児童が多い。 △個々のポジションや動き等まで考えた具体的な作戦を立ててゲームを行っているチームは少ない。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動や健康についての自己の課題を見付け、高めていこうとする態度</li> <li>・課題の解決に向けて具体的に思考し、判断する力</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試合前と後の挨拶を徹底して行わせる。</li> <li>・自分なりのめあてを立てて、少しずつ上達していくことを実感させる。運動が苦手な児童の振り返りカードに教師が励ますコメントを毎回入れるようにする。</li> <li>・具体的な作戦例を紹介し、自分のチームの特徴にあった物を選択できるようにする。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>ボール運動「ソフトボール」</u> 指導時間： <u>8</u> 時間      指導時期： <u>11</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試合前と整列をし、大きな声で全員で挨拶をしてから試合開始とする。試合後はお互いが頑張ったねの意味を込めて、挨拶と握手をすることを行う。</li> <li>・学習カードに毎時間のめあてとそれに対する振り返りを書く。それを教師が確認し、それぞれに児童を認め・励ますコメントを入れるようにする。</li> <li>・学習カードには作戦につながる動きの例示を載せ、それを基にチームで話し合い、自分のチームの作戦を考えられるようにする。</li> </ul>

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○漢字や言葉等の語句の学習は、意欲的に取り組むことができる。 △筆者の主張を捉えることを苦手としている児童が多い。また、それに対して自分の考えをもち、表現することを苦手としている児童も多い。 △主語・述語の関係に気を付けながら、文を作ることが苦手な児童がいる。 △平成 31 年度全国学力・学習状況調査の結果から「話す・聞く」「読む」の領域を苦手としている児童が多い。また、記述式の問題の正答率がかなり低い。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。</p>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<p>・筆者の主張や、テーマのヒントになる語句を、文中から見つけられるように練習する。 ・感想文や意見文を書き友達に発表することによって、自分の考えを明確にすると同時に、多様な考えに触れる機会を作る。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>自然に学ぶ暮らし</u> 指導時間： <u>8</u> 時間      指導時期： <u>1</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>○本文を一読して要旨を書き、文章を理解した後に書く要旨と比較させる。 ○「初め」「中」「終わり」の3つの場面に分けさせたり、文章構成図を作らせたりし、思考のずれを作る。 ○要点を見つける際のポイントを掲示する。 ○一人一人が自分の考えを述べられるようにまずグループで話し合わせる。その後クラス全体に話し合いを広げる。</p>

令和元年度 6 学年 社会 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○意欲的に学習に取り組み、主体的に学習問題を考えている。 △歴史的な事象の相互の関連や意味を多角的に考えていくことが苦手。 △学習したときは覚えているが、なかなか重要用語が定着していかない。 △年表などの基礎的資料を通して情報をまとめることが苦手な児童が多い。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力。</li> <li>・ 社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を洗濯・判断する力。</li> <li>・ 考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書や資料集の年表を積極的に使い、前の時代との関連を常に考えさせていく。</li> <li>・ 前の学習も振り返りながら学習をすすめる、新しい用語も前の学習内容と関連して考えさせる。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： _____ 新しい時代の幕開け _____ 指導時間： _____ 7 _____ 時間      指導時期： _____ 10 _____ 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小単元分の授業内容を振り替えられる学習シートを用意し、小単元の最後でそれぞれ取り組ませる。</li> <li>・ 常に年表を基に学習をすすめていき、出来事の順序などを捉えさせるとともに、年表を適切に使い情報をまとめていくことに慣れさせる。</li> <li>・ 黒船の来航から、国内が混乱して若い武士たちが江戸幕府を倒すまでの様子について調べ、幕府と倒幕派に分かれて討論する。</li> <li>・ 単元の学習の最後には、グループで人物相関図をつくり、他のグループと見せ合って話し合うことを通して、重要人物どうしの関連、出来事の関連を考えさせる。</li> </ul>

令和元年度 6 学年 算 数 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○单元ごとのテストを見ると、「知識・理解」「技能」に関しては、それぞれ 2、4 ポイント平均到達目標より上回り、達成できている児童が多い。 ○たし算やひき算等、計算問題は解ける児童が多い。 △文章題では、題意をとらえて正しく立式できない児童が見られ、式の意味理解が十分になされていない。 △題意をとらえ立式することや、「なぜそうなるのか」と理由を説明することなど、「数学的な考え方」を高めていくことについて課題がある。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉や図、数、式等を用いて、筋道を立てて説明したり、論理的に考えたりすること。</li> <li>・数量の関係を式に表したり、式を読んだりすること。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章題を解決するために、簡単な図をかく活動を取り入れる。</li> <li>・事柄や関係を的確に捉えるために、実際に線分図をかいたり、具体物や半具体物を用いて調べてみたりして、式に表したり、式を読んだりする活動を取り入れる。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： _____ 比と比の値 _____ 指導時間： _____ 9 _____ 時間      指導時期： _____ 9 _____ 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p style="text-align: right; margin-right: 20px;"><math>\frac{A}{B}</math></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な場面を示して、A : B という比の表し方を知らせ、<math>\frac{A}{B}</math> を A : B の比の値ということや、比の相等とそれらの意味について理解させる。</li> <li>・日常生活の中から比が用いられる事象を探したり、それらを活用して物事を処理したりするような活動を行う。</li> <li>・「比を簡単にする」場面では、分数の約分と似ているため、関連させながら理解をさせる。</li> <li>・全体の量を簡単な比に分ける「比例配分」は、線分図を用いて、割合と量の関係を明確にさせる活動を行う。</li> </ul>

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○予想を立てて、実験に意欲的に取り組むことができる。 ○実験の説明・注意をしっかりと聞いて安全に気を付けて実験を行うことができる。 △実験結果をふまえての考察を書くことを苦手になっている児童が多い。 △知識の定着が不十分である。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水溶液の性質を追究する中で、より妥当な考えを作り出し、表現する力</li> <li>・内容項目「Aエネルギー」に関する知識・理解</li> <li>・理科の見方・考え方を働かせながら実験や観察を行い、その結果から考察を書くこと</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・理解が定着するように、小單元ごとに学習プリントを解き、重要用語をふりかえられるようにする。</li> <li>・実験後には必ず考察を書かせるとともに、班の中で一人ずつ発表し合えるようにする。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>單元名： <u>水溶液の性質</u> 指導時間： <u>12</u> 時間 指導時期： <u>10</u> 月頃</p>
	<p>單元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小單元ごとに、学習プリントを用意し、小単元の最後にそれぞれ実施して、知識の定着を目指す。</li> <li>・既習内容を活用し、水溶液の性質の違いをもとに見分ける方法を一人一人が考え、グループ内で交流する。</li> <li>・交流活動で解決できたこととともに、新たに生まれた疑問を生かし次時の時間の課題につなげ、学びを連続させていく。</li> <li>・考察を考えることが難しい児童には、個別に既習内容を振りかえさせる声掛けや、教科書に戻っての確認などによる個別支援を行う。</li> </ul>

令和元年度 6 学年 音楽 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○進んで音楽にかかわる児童が多い。 △歌唱では、男子は変声期、女子は思春期等で声量が弱くなっている児童も数名いる。 △器楽では、主にリコーダーの合奏しかできず、他の楽器を使った合奏が不十分である。 △創作では、リズムカードを使い、リズムパターンをつくり、つくる活動を苦手とする児童がいる。 ○鑑賞ではオーケストラ鑑賞教室、リコーダーアンサンブルの生の演奏を楽しく鑑賞することができた。 △鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲の演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くことが不十分である。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと。</p>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<p>・興味をわく教材を選択する。 ・授業の流れを明確にする。 ・グループ学習により、協働して音楽を作り上げる体験の積み重ねをさせる。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>和音の音で旋律づくり</u> 指導時間： <u>5</u> 時間      指導時期： <u>9</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>・和音を感じ取りやすくするために、CDを流しながら、それに合わせて歌唱する。 ・和音を感じ取れるように演奏する際に、鍵盤ハーモニカやリコーダーで、和音を分担して表現する。 ・リズムを考える際には、一学期に使用したリズムカードを参考につくらせる。 ・つくった旋律を表現し、一人一人の旋律が違うこと、作曲者になれたことを褒める。 ・ワークシートに自分の表現を工夫したところなどを記入し、思いや意図をもてるようにする。</p>

令和元年度 6 学年 図画工作 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○図工に興味を持ち、楽しく取り組む児童が多い。 ○高学年らしい落ち着きがあり、根気よく取り組む児童が多い。 △自分の思いを持ち、自分なりのアイデアや工夫を生かしながら、表現する力。 △材料や道具の特徴を生かし、用途に応じて扱うことができる力。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・自分がつくりたいものの用途や機能に合わせてながら、形や色を考え、作り出す力。</p>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<p>・自分の思いやアイデアを練るための時間を確保する。 ・安易に友達などのアイデアの模倣に陥らないよう、個別に指導する。 ・材料に親しませ、道具の正しく安全な使い方を指導する。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>一枚の板から</u> 指導時間： <u>12</u> 時間      指導時期： <u>9・10</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>・アイデアスケッチの段階で、十分に自分の思いやアイデアを練るための時間を確保する。 ・個別指導によって、その児童なりの思いやアイデアをできるだけ認め励まし、自信を持たせ、さらに高めさせる。 ・板書やプリント、作例の例示などを通して、自分がつくりたいものの用途や機能に合わせてながら、形や色を工夫することの大切さに気付かせる。 ・木材に親しむために、必要に応じて端材での試し切りや簡単な組み立てなどを行う。 ・電動糸のこぎり、手引きのこぎり、げんのう、釘などの正しく安全な扱い方の指導を徹底する。</p>



令和元年度 6 学年 家庭 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○課題に対して、興味関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。 ○相談したり教え合ったりしながら活動できる。 △作業の丁寧さに欠ける児童がいる。 △学習したことが実際の生活や地域、環境と結びつきにくい。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の知識や技能の充実と実践力の向上。</li> <li>・衣食住、環境、消費に対する意識を高め、学習したことを生活に生かそうとする態度の育成。</li> </ul>	
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体指導で基礎的基本的な技能・知識を確実に身に付けさせるとともに、発展学習として個人やグループで工夫できる活動を取り入れる。</li> <li>・学習したことを家庭でどのように生かしたか、期間を定めて実践記録を付けさせる。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>くふうしようおいしい食事</u> 指導時間： <u>12</u> 時間 指導時期： <u>10月中旬～11月頃</u></p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が考えた献立と給食の献立表を比較、分析させながら、栄養バランスについて考えさせる。</li> <li>・給食センター栄養士と連携して指導する。</li> <li>・ゆでる、いためる、焼くなど食材のアレンジや、組み合わせについて調べさせる。</li> <li>・全体指導として、こふきいもの調理実習をさせた後、発展学習として、グループごとに考えたおかず作りをさせる。</li> <li>・実習計画を立てさせ、段取りや能率について見通しをもたせる。</li> <li>・家庭での献立作りや調理実践を記録させる。</li> </ul>

令和元年度 6 学年 体育 科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○運動に苦手意識をもっている児童も一部いるが、全体的には、運動に意欲的に取り組む児童が多い。 △多くの児童が毎回、学習カードに学習の振り返りを書くことができているが、めあてに即した振り返りができている児童や次時のめあてを考えられている児童は少ない。 △作戦に対する意識は全体的に低く、一人一人の動きが具体的な作戦を立ててゲームを行っているチームは少ない。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動や健康についての自己の課題を見付ける。</li> <li>・課題の解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝える。</li> </ul>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作戦への意識が高まるように学習カードや学習補助教具を工夫する</li> <li>・チームで話し合う場を確保する。</li> <li>・児童が自己の課題に応じためあてをもって運動に取り組めるように、めあての確認や学習後の振り返りを十分に行う。</li> </ul>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： <u>        </u> ボール運動「バスケットボール」<u>        </u> 指導時間： <u>    8    </u> 時間      指導時期： <u>    1    </u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各チームに作戦板と全員分の丸磁石を用意し、作戦板を活用しながらチームでよく話し合い、ボールの回し方や一人一人の動きが具体的な作戦を立てることができるようにする。</li> <li>・学習カードには作戦につながる動きや練習のポイントを載せ、チームでよりよい作戦を立てる際の一助となるようにする。</li> <li>・学習カードに毎回、めあてに関連する振り返りを書かせ、次時へのめあてを考えさせることで、個に応じためあてになっているか確認するとともに、適切なめあてをもつことができている児童には具体的に助言をする。</li> </ul>